

新ごみ処理施設整備基本計画（素案）にかかる説明会 議事録

日 時 平成28年12月25日（日）  
 場 所 江和井集会所  
 会議時間 午後 6時05分から  
 午後 7時45分まで  
 参加人数 11名  
 顛末

司会（関根主幹）	1 開会
根岸事務局長 菅野副町長 司会	2 あいさつ  出席者紹介
事務局	3 新ごみ処理施設整備基本計画（素案）について 資料をもとに説明。
質問者A 事務局	4 質疑応答 周辺施設はいつ検討、決定するのか。 本日の計画の工程案はごみ処理施設本体のものである。余熱利用施設は本体に先行して建てる例や後に建てる例もある。組合では同時並行で進めていく。 周辺施設の検討は本体の1年遅れくらいで追いかけていきたいと考えている。周辺施設の計画を来年度固めるために、地元の声聴く組織を設立したい。
質問者B 事務局	周辺施設はどういったものを造るかのたたき台はあるか。地域に買い物をするところがないのでコンビニを造ってほしい。 具体的な検討はこれからである。構想の中で温水プールと記載しているが、競技用なのか介護予防に主眼を置くものかはみなさんの意見を聴いて決めていきたい。農産物も販売コーナーになるか直売所になるかも、最終的には9市町村の合意を得ながら進めていきたい。
副町長	地域の発展に向けて、地域の代表者の意見をまとめてから取り組んでいきたい。
質問者C 吉見町 事務局	中部環境センターの今後は。 中部環境センターは吉見町、鴻巣市、北本市の3市町で運営している。3市町のごみが来る間は役割がある。 当組合が平成34年度末、鴻巣行田北本組合が平成35年度の稼働を予定している。ほぼ同時期にごみを持っていける。解体費用のための積み立てを始めているとのことである。
質問者C	中部環境センターの隣地に新施設を造るとのことだが、総合的に考え

事務局 質問者A 事務局	<p>ていくのか。個別か。</p> <p>荒川荘を含めてどう考えるかは話し合いによる。</p> <p>1年くらい2本の煙突が立つということか。</p> <p>稼働が重なる時期も想定される。環境アセスメントにおいてもそういった状況を踏まえて調査を進める。</p>
質問者D 事務局	<p>現状240トンだが、市町村が増えるのに余力はあるのか。</p> <p>9市町村の将来のごみ量を予測した上で228トンという数値になっている。将来人口減に伴うごみ量の減少が考えられる。稼働年度の一番高いところでの規模である。稼働以降も運転に支障のないで規模である。</p>
質問者E 事務局	<p>建設予定地内に建設反対の看板がまだ立っているが。</p> <p>8月19日に25名の地権者全員から測量等の立入りの承諾をいただいた。看板を立てた人は土地の所有者ではない。土地所有者からは調査立入りの同意はいただいている。</p> <p>反対している人が当組合を相手に昨年の夏から裁判を起こしている。中部環境センターを造るときの裁判で和解したにもかかわらず近くに造ろうとしており、当組合が進めている測量や地質調査等の作業をやめるようにとの訴えである。</p> <p>土地所有者に看板撤去の申入れをしている。</p>
質問者E 事務局	<p>搬入の際に、道路が渋滞しないように願います。</p> <p>現在の搬入ルートは確定したものではない。中部環境のルートを使うのも一つの方法であるが、それ以外の方法も考えられる。実際は地元の方との協議によるところが大きい。</p> <p>今回の配置図では計量棟にレーンを複数設けて待機車両の緩和を図っている。季節変動も考えなくてはならない。混雑の度合いについて詳細な調査が今後必要になるかと考える。</p> <p>平成26年度の川島町が入る前の古いデータであるが参考にお示しする。搬入台数が1日当たり平均116台と推測している。</p> <p>最新データではないが、平成20年度交通量調査によると、江網交差点で朝7時から夜7時までの間で3万台である。また、役場前交差点で朝7時から夜7時までで3万8千から9千台である。付近の交通量に比べ、新施設への搬入台数の影響は小さいかと考えるが、新しい情報を参考に検討をしたい。</p>
質問者E 質問者B 事務局	<p>9市町村の自己搬入の分も考慮してほしい。</p> <p>今の3市町に比べて、9市町村ではどれほど（搬入台数が）変わるのか。</p> <p>持ち帰らせていただく。後日、報告の機会を設けたい。</p>
質問者A 事務局	<p>新施設はどれくらいの稼働期間を考えているのか。次（の建設地等）は検討されているのか。</p> <p>新施設の次については正副管理者会議で話題にできるが固まっていない。まずは、ごみを安全、安定的に処理できる施設を建設することを考え</p>

日環センター	<p>ている。</p> <p>一般的な耐用年数は出せない。補修の仕方では年数が変わる。交付金の耐用年数としては示せる。</p> <p>全国的に見れば、手を加えながら35年くらい使っている例もある。昔は15年経つと国から建て替えの補助金が出たが、今は15年経つと基幹改良の補助金が出る。長期で使おうという考え方である。30年は問題なく使えると考える。</p>
質問者A	<p>中部環境の跡地を建替用地にするのではなく、地元のためになる再開発をしてほしい。</p>
事務局	<p>中部環境保全組合に伝えさせてもらう。</p>
質問者D	<p>中部環境では他の市から吉見町に迷惑料をもらっていると聞く。現在どのように使われているのか。また、新施設ではどうなるのか。</p>
吉見町	<p>吉見町は周辺整備のため、中部環境保全組合から負担金として年間2500万円頂いている。負担金は東第二地区の道路整備、水路整備、集落排水整備に使われてきた。中部環境の負担金のほかに町のお金、県の補助金を利用して、いち早く整備を進めてきた。</p>
事務局	<p>当組合では具体的に決まっていない。協議する内容には入っているので、吉見町、川島町の考え方、それ以外のメンバーの考え方を調整して決めていく。</p>
質問者A	<p>地元とはどこか。</p>
事務局	<p>東第二の各地区と芝沼地区を地元として個別の説明会をした。</p>
質問者C	<p>鳥インフルエンザについて、中部環境では焼却したが、新施設ではどうなのか。風評が心配である。交通の面でも反対が出ないように検討をお願いします。</p> <p>組合が違ってても地元と中部環境保全組合との関係は引き継がれるものと思われる。</p>
副町長	<p>鳥インフルエンザへの対応について、平成17年8月に県から依頼を受け、町として検討した結果、地域の住民と話し合いをした上でやむを得ず焼却したという経緯がある。新施設では、処理対象物として基本的に考えていない。実際に起こった際には国、県の方針、地域の方の理解を踏まえた上で総合的に判断をする必要がある。</p>
事務局	<p>現在の中部環境センターの取組みから後退することのないよう、住民、構成市町村と協議を進めていきたい。</p>
質問者A	<p>地震対策だけでなく水害対策も十分検討してほしい。</p>
事務局	<p>防災拠点となるような施設を整備していきたい。盛土や電気系統を高く設置するなど運転に支障がないように設計の段階から取り入れていきたい。</p>
日環センター	<p>東日本大震災、阪神淡路大震災で焼却施設が停止したところはない。東日本大震災の際に、石巻の焼却施設は津波を受けて一部損壊した。メーカーが強固な耐震設計をするため、施設の中が揺れることはまずない。災害廃棄物が処理できるような施設を造っている。</p>

司会

5 閉会のあいさつ

－ 以上 －